

兵庫県知事 井戸敏三 殿
三田市長 森 哲男 殿

三田市の障害者自宅監禁・虐待事件についての要望書

2018年4月27日

自立生活センターで活動する精神当事者の有志一同
連絡先

兵庫県神戸市兵庫区中道通6丁目3番12
自立生活センターリング
078-578-7358

平素より精神保健福祉にご尽力くださりありがとうございます。私たちは自立生活センター（どんな重度の障害を持っていても地域で自立した生活をおくることを支援する障害当事者の団体）に所属する精神障害当事者の集まりです。

昨年12月の大阪寝屋川市の事件と同様、兵庫県三田市で障害のある長男を自宅に作った檻の中に20年以上も監禁していた事件が発覚しました。報道によると、『父親は「長男は精神疾患があり、暴れるから仕方なく監禁した」と話しており、プレハブ内の木製の檻（高さ約1メートル、幅約1・8メートル、奥行き約90センチ）に長男を監禁していた。今年の1月に通報を受け市職員が自宅を訪問したときは、上半身に服を着ただけの姿で、檻には南京錠がかかり、ペット用シートが敷かれ垂れ流しの状態にされていた。父親によると、おおむね2日に1回程度、自宅で食事を与え、風呂にも入れていたという』とあります。

この状況はあまりにひどく、同じ精神疾患を持つ私たちは多大な衝撃を受けました。そして私たち『自立生活センターで活動する精神障害当事者の有志一同』は、怒りと悲しみを持って障害があるというだけで人権を踏みにじられることに、強く抗議するとともに、しっかりと事件を検証することと、二度とこのようなことの起こらないよう再発防止をすること、精神・知的障害者の人権が守られる地域社会の構築を求めます。

今回の事件では、20年以上前に両親が三田市に複数回相談しており、障害者手帳は取得していましたが、結果的に支援を受けていませんでした。これに対して三田市は、当時の対応に誤りはなかったと話していますが、この時にしっかりと調査、対応していれば、20年以上も人間性を無視された檻の中で監禁されることはなかったはずです。また被害者が精神障害者保健福祉手帳を取得していたなら、2年ごとの更新があるはずで、医師の診断書や本人、家族の申請書、同意などが必要なはずで、20年以上更新の際にも全く状況の把握出来なかったのはなぜでしょうか。手帳を発行しながら、20年以上の監禁を発見できなかったことの責任が兵庫県と三田市にはあると考えます。

私たちは本人の人生が奪われたことに対して、強く抗議すると共に以下の項目について要望を致します。

● 要望項目

- ① なぜ自宅の檻の中で監禁・虐待が20年以上も続き放置されていたのか、20年以上前の三田市の相談窓口の対応が本当に適切だったのか、適切であるならなぜこのような事態になったのか考えをお聞かせください。
- ② 被害者が精神障害者保健福祉手帳を取得していたなら、2年ごとの更新時に診断書の提出などがあつたはずで、そのときになぜ発見できなかったのか、その理由を説明してください。
- ③ 手帳を発行し、さらに父親から複数回相談があり、またその時に相談員が自宅に訪問したにも関わらず具体的な支援を行わなかった責任についてどうお考えですか。
- ④ 今回の被害者は報道では精神障害とされていたり、知的障害とされていたりまちまちです。障害者手帳を取得したとありますが、どの障害にあたりますか。手帳の種別を公表することだけではプライバシーの侵害にはあたりません。障害種別をはっきりさせることは今後の対策や施策を考える上で必要なことであり、また市民に対しても曖昧な情報や間違つた情報を与え続けることは、「精神障害者だから暴れるのだ」「精神障害者なら監禁も仕方ない」などの偏見を助長させます。市民に正確な情報を開示してください。
- ⑤ 今回の事件を踏まえ再発防止のためにどのような対策をするか具体的にお聞かせください。
- ⑥ 大阪の寝屋川の事件もあり、重度の障害を持っている人が自宅で監禁されているケースも潜在的にまだ存在すると考えられます。障害者の命の保障、人権の保障のために同じようなケースがないか調査することを求めます。
- ⑦ また対策や調査を実行するうえで、治安を守る警察にその調査を委ねるのではなく、障害者の人権と生活を守る障害福祉の責任で行うことを強く要望します。
- ⑧ 今回の事件で親に対し、(本人が騒ぐので)近所から苦情が来るなど、社会的にも追い詰められていったと考えられます。障害者が障害の種別、重度・軽度を問わず安心して暮らすためには一般社会に対し、障害者の人権啓発について具体的な施策が必要と考えます。その中でも精神障害者、知的障害者に対する偏見は市民のあまりに深く刷り込まれていて、多くの人が差別や人権侵害について意識することすら出来ていません。兵庫県としてこれらの問題をどう捉え、どのような取り組みをするか具体的にお聞かせください。
- ⑨ 今回のケースで本人が保護され入所できてもそれが精神・知的障害者の人権問題の解決ではありません。入所した方が出来るだけ早く地域で安心して暮らせるよう、退院支援、生活保障、住宅保障、介護保障などの地域生活の充実を求めます。

以上につきまして、文書で回答をよろしくお願い致します。